

**HAKKO 370**  
SELF FEEDER**HAKKO 371**  
SOLDERING GUN

## 取扱説明書

### 目 次

1. 仕 様	1
2. 各部の名称	2
3. ご使用の前に	4
4. 使用方法	4
5. 保 守	5
6. オプション仕様	9
7. 配線図	9
8. 交換部品	10

ご使用前に必ずこの説明書をおよみください。

## 1. 仕様

### 1) 定格

- 電 源 AC100V 50/60Hz
- 消費電力 48W

### 2) フィーダー (HAKKO 370)

- モーター定格入力 8 W
- 使用可能半田径 1.0φ標準(0.6, 0.8, 1.2, 1.6)
- 使用可能半田量 1 kg巻ポビン (MAX)
- 半田送り量 50Hz 1.6mm~16mm  
60Hz 2 mm~20mm
- 外形寸法 135(W)×125(H)×280(D)
- 重 量 約2.6kg

### 3) ガンタイプコテ (HAKKO 371)

- ヒーター 40Wセラミックヒーター
- コテ先設定温度 300°C~420°C連続可変
- 使用可能半田径 1.0φ標準(0.6, 0.8, 1.2)
- コード 四芯綿コード 1.5M
- チューブ 二重テフロンチューブ 1.5M
- フィーダー接続 大型メタルコンセント(アース付)
- 重 量 約180 g (コード除く)

### 4) 標準付属品

#### ○SF370

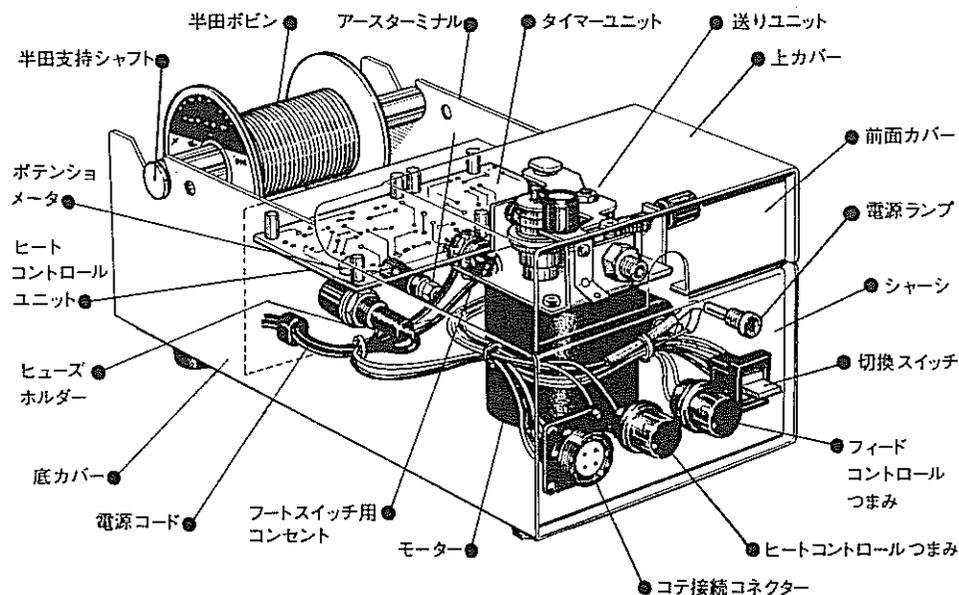
- 半田支持シャフト 1本
- 支持シャフト止め金具、取付ビス 各2ヶ

#### ○SF371

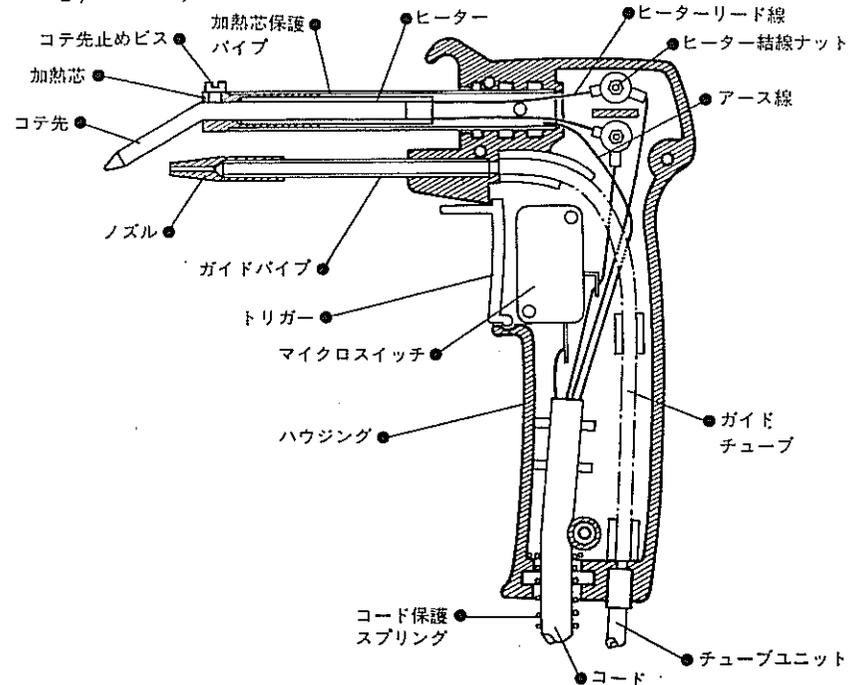
- 専用コテ台 1台
- こて先クリーナー 1ヶ
- こて先止めビス用L型レンチ 1本

## 2. 各部の名称

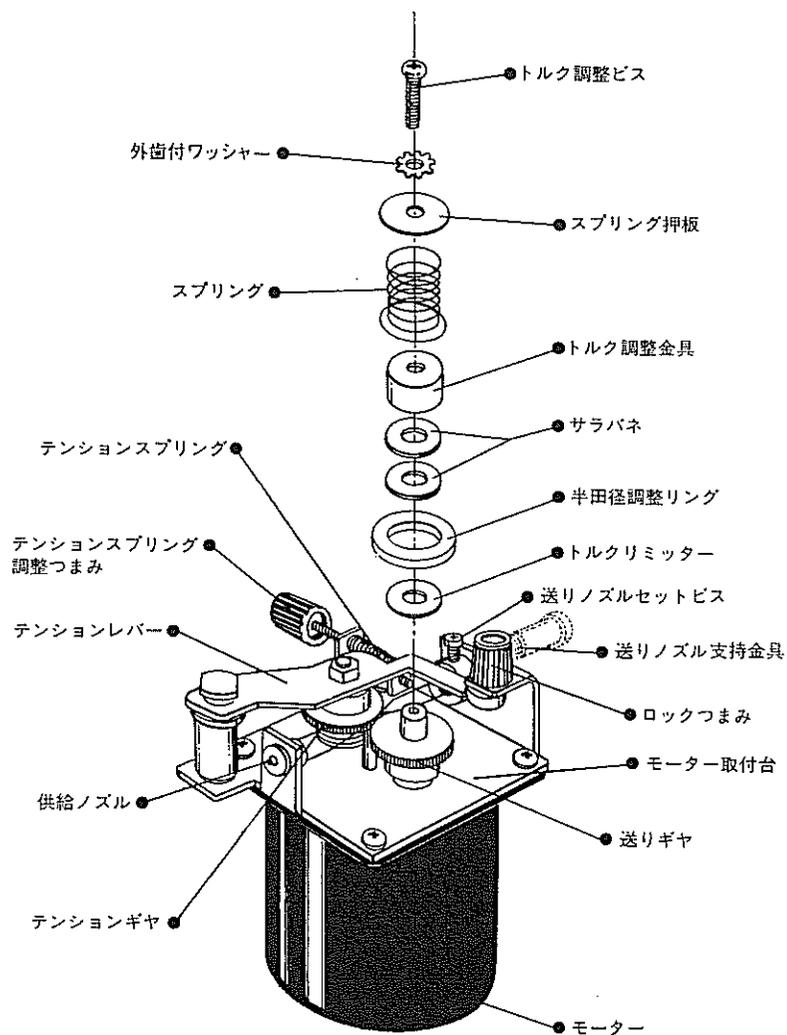
### 1) フィーダー



### 2) コテ

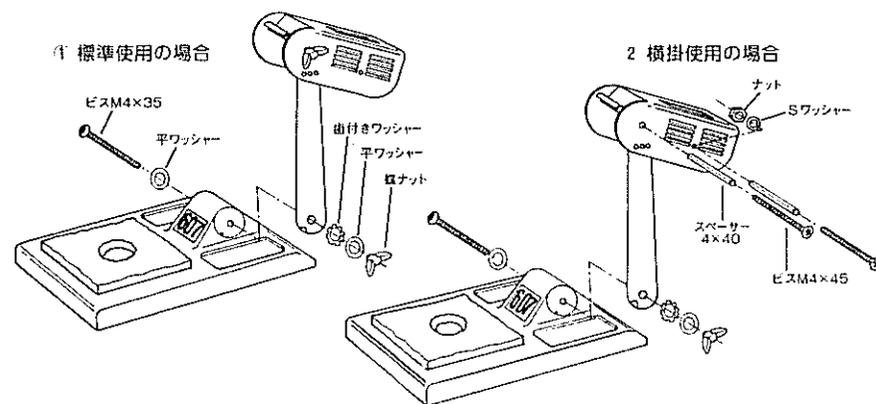


### 3) 送りユニット



### 3. ご使用前に

1) コテ台を図の様に組立て下さい。

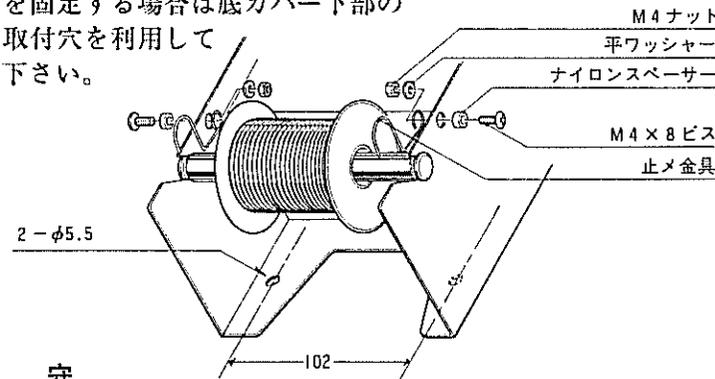


### 4. 使用方法

- ① コテとフィーダーをコネクターとチューブユニットにより接続し、フィーダーの上カバーを開いて送りノズルセットビスを締めます。(この時送りノズルセットビスを強く締め過ぎますと送りノズルを傷め、半田を送らなくなる原因となりますのでご注意ください。)
- ② 半田ボビンに半田支持シャフトを差し込み、フィーダーに取り付けて半田が上側より取り出せる様にします。
- ③ ロックつまみによりテンションレバーを開いた状態にし、供給ノズルに半田を通してから、送りノズルに半田を5~10mm差し込みます。
- ④ ロックつまみを解除します。
- ⑤ 切換スイッチをMANUAL側にし、コテのトリガスイッチをONにしますと半田が送り出されます。半田がノズルの先端まで供給された時、トリガスイッチをOFFにし、切換スイッチをAUTO側にします。
- ⑥ フィーダーのヒートコントロールつまみ及びフィードコントロールつまみを使用温度及び半田使用量に合わせます。  
ヒートコントロール 1;約300℃ 6;約420℃  
フィードコントロール 50Hz S;1.6mm L;16mm  
60Hz S; 2mm L;20mm

- ⑦ 切換スイッチON後約5分で使用可能状態となります。  
(MANUAL又はAUTO)
- ⑧ 切換スイッチAUTO側でトリガスイッチをONすればフィードコントロールつまみで調整された量だけ半田が供給されます。切換スイッチMANUAL側でトリガスイッチをONすればフィードコントロールつまみの調整に関係なく、トリガスイッチがON状態の間ずっと半田が供給されます。
- ⑨ 新しく半田を供給する場合、半田の先端をカッター等で真直ぐに切って供給して下さい。(斜めに切りますとチューブ内で半田がつまる原因となります。)
- ⑩ 垂直式に使用する場合

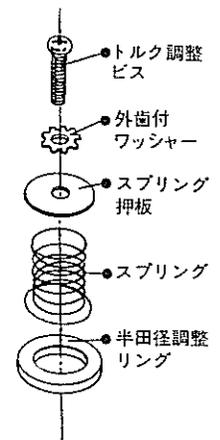
下図の様に付属の支持シャフト止め金具、及び取付ビスを利用しますと半田ポピンを支持することができます。また、本体を固定する場合は底カバー下部の



## 5. 保 守

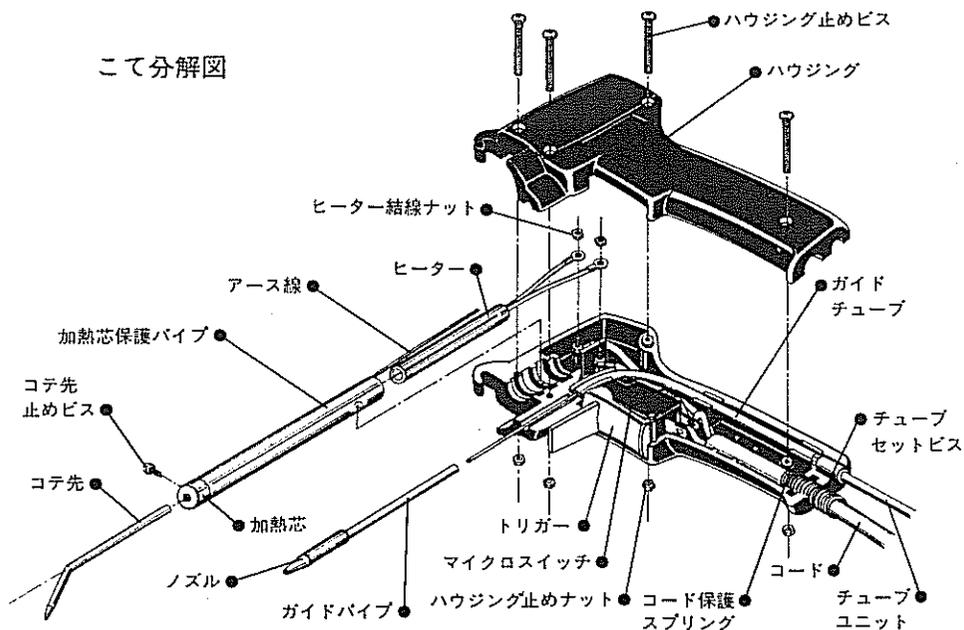
- 1) 半田径の変更 (半田径を変更する場合、は下記の方法でお取換下さい。)
- ① 切換スイッチをOFFにし、ロックつまみによりテンションレバーを開いた状態にしてチューブユニット内に残った半田をポピンに巻き、取り除いて下さい。
  - ② チューブユニットとコードを固定しているビーズバンドをはずします。
  - ③ フィーダーの送りノズルセットビス及びコテのチューブセットビスを緩めます。
  - ④ チューブユニットを取りはずします。
  - ⑤ コテ先止めビスを緩め、コテ先を抜き、ガイドパイプよりノズルを抜き取ります。
  - ⑥ トルク調整ビスを取り除き、スプリング押板・スプリング及び半田径調整リングを取りはずします。

- ⑦ 半田径に合った半田径調整リングをスプリング・スプリング押板及びトルク調整ビスにより固定します。トルク調整ビスの締付力は5-6を参考にして下さい。
- ⑧ 半田径に合ったノズルをガイドパイプに差し込み、コテ先を固定します。
- ⑨ 半田径に合ったチューブユニットを送りノズルセットビス及びチューブセットビスで固定します。
- ⑩ チューブユニットとコードをビーズバンドにより固定します。
- ⑪ 4の②～⑤の方法で半田をセットして下さい。



- 2) ノズルの交換 (ノズルの先端が傷んだ場合は下記の方法でお取換え下さい。)
- ① コテ先止めビスを緩め、コテ先を抜きガイドパイプよりノズルを抜き取ります。
  - ② 新しいノズルをガイドパイプに差し込み、コテ先を固定して下さい。
- 3) ヒーターの交換 (ヒーターが断線した時は下記の方法でお取換え下さい。)
- ① コテ先止めビスを緩め、コテ先を抜き取ります。
  - ② コテ先が左側になる様にハウジングを置き4本の止めビスをはずし、上側のハウジングを持ち上げます。
  - ③ ヒーター結線ナットをはずし、加熱芯保護パイプを持ち上げヒーターを抜き取ります。
  - ④ 組立ては上記の逆の順で組立てします。
  - ⑤ ヒーターを交換した時、フィーダーの上カバー後部の、CALと表示しているビスをはずし、中のポテンショメータを⊖のドライバーで回し、温度を調節して下さい。調節の仕方はヒートコントロールつまみを1の位置にして通电後約5分放置し、コテ先温度計にて300℃になる様にポテンショメータを調節して下さい。右に回せば温度は高くなります。

こて分解図



4) 加熱芯の交換 (コテ先止めビスでコテ先が固定できなくなった時、下記の方法で加熱芯を交換して下さい。)

- ①コテ先止めビスを緩め、コテ先を抜き取ります。
- ②3) - ②の方法でハウジングをはずします。
- ③アース線の半田付をはずし、ヒーターより加熱芯を抜き取ります。
- ④組立ては上記の逆の順で組立ます。(ハウジングのボスと加熱芯の穴を合わせます)

5) 送りギヤに半田がつまった場合はブラシ等で半田を取り除いて下さい。

6) 調整

①トルク調整ビスの調整はトルクドライバーにより半田径に合わせて右記の表の値に調整して下さい。トルクドライバーのない場合は、トルク調整ビスをFreeの状態から徐々に締付けていき、通常の半田

トルク調整値

半田径	kg-cm
φ 0.6	0.1
φ 0.8	0.3
φ 1.0	0.5
φ 1.2	0.7
φ 1.6	0.7

送り状態でノズル先端に出ている半田をラジオペンチ等でつかみ、半田が送り出されないようにした時、送りユニットのトルクリミッターが働いて、送りギヤがスリップして半田を送らなくなり、次につかんだ半田を離れた時に再び半田が送り出される様に適度の強さでトルク調整ビスを締めて下さい。締め方が強過ぎますと、コテ先部及びチューブ内に異状があった場合、送りギヤと送りノズルの間で半田が曲る等のトラブルが生じ、締め方が弱過ぎますと、わずかな異常でもトルクリミッターが働き、半田を送らなくなりますので注意して下さい。

②テンションスプリング調整つまみの調整は、テンションギヤがスリップしないように調整して下さい。

7) 保守点検手順

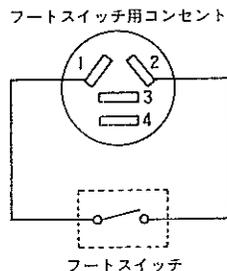
○電源ランプがつかない	・電源プラグが入ってますか？ ・ヒューズが切れてないですか？
○半田を送らない	・チューブユニットが半田径に合っていますか？ ・ノズルが半田径に合っていますか？ ・半田が異常に曲がっていないですか？ ・トルク調整ビスの調整が合っていますか？ ・送りノズルの箇所半田が曲がっていないですか？ ・ギヤに半田が付着していないですか？ ・ノズルの先端がつまっていないですか？
○コテ先温度が上らない	・ヒーターが断線していないですか？ ・ポテンシオメータが調整されていますか？

○その他原因のわからない場合は、取扱い店に御連絡下さい。

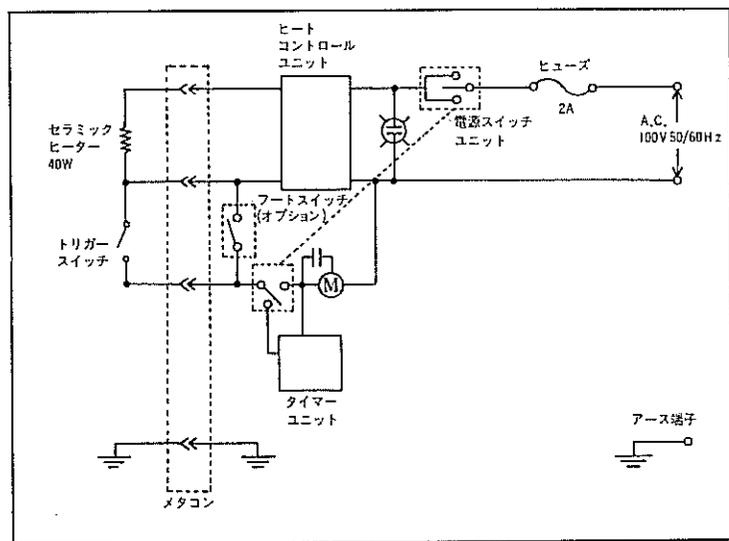
## 6. オプション仕様

### ① フートスイッチを使用する場合

フィーダー裏面のフートスイッチ用コンセントにフートスイッチを取り付けたメタルコンセントを差し込み、フートスイッチをONしますと半田を供給する事ができます。接続PIN番号は1及び2です。



## 7. 配線図



※尚、本品には万全を期しておりますが、万一故障(特に温度コントロールの不調)等が発生しました場合は、誠にお手数ですがごて部とステーション部の両方を代理店・販売店まで送り返していただきますようお願い申し上げます。

## 8. 交換部品

### ●ごて先

品番	仕様
371-T-1D	
371-T-1B	
371-T-1C	
371-T-2C	
371-T-3C	
371-T-4C	
371-T-L1B	
371-T-L2B	
371-T-SB	
371-T-B	

### ●ヒーター

品番	品名	仕様
371-H	ヒーター	セラミック 371用、40W

### ●加熱芯

品番	品名	仕様
371-012	加熱芯	371用

### ●371、372、376共通交換部品

品番	仕様
371-013-0.6	チューブユニット 0.6φ用
371-013-0.8	チューブユニット 0.8φ用
371-013-1.0	チューブユニット 1.0φ用
371-013-1.2	チューブユニット 1.2φ用
371-013-1.6	チューブユニット 1.6φ用(ストレートタイプのみ)
371-N-0.6	ノズル 0.6φ用
371-N-0.8	ノズル 0.8φ用
371-N-1.0	ノズル 1.0φ用
371-N-1.2	ノズル 1.2φ用
371-N-1.6	ノズル 1.6φ用(ストレートタイプのみ)
370-023	フットスイッチ用プラグ
607	ごて台Na607
609-029	クリーニングスポンジ

## 9 オプション

品番	仕様
B2988	フットスイッチ 2mコード、プラグ付

## 產品中有毒有害物質或元素的名稱及含量

部件名稱	有毒有害物質或元素					
	鉛(Pb)	汞(Hg)	鎘(Cd)	六價鉻 (Cr(VI))	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
泵組件	×	○	○	○	○	○
過濾管接合套	×	○	○	○	○	○
吸錫槍部分	×	○	○	○	○	○
插頭	×	○	○	○	○	○
<p>○：表示該有毒有害物質在該部件所有均質材料中的含量均在SJ/T 11363-2006標準規定的限量要求以下。</p> <p>×</p>						

注有「附帶BS插頭」之時，表示「插頭」為含有有害物質的部件。



**白光株式会社**

<http://www.hakko.com/>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

Copyright © 2004 HAKKO Corporation. All Rights Reserved.

2004.11  
MA00158BB041122